

2023.11.12. 誤解を避けるためあらゆる努力をすること

第二ヨハネ第2章10節から13節

JD ファラグ牧師

一緒に祈りませんか？ 主よ、あなたを褒め称えます。あなたにすべての栄光と誉れを捧げます。あなたのものだからです。主よ、あなたが造られた日です。あなたの御教えで私たちを祝福くださいますか？ 主よ、JD 牧師にあなたの召しを行う力、勇気と知恵を与え続けて下さいますように。主よ、あなたの御言葉によって私たちの時間を祝福ください。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

アーメン、アーメン。おはようございます。ようこそ。来てくださり大変嬉しいです。ご着席ください。オンラインでご参加の方も大変嬉しいです。始める前にですけど、「マウイ・ミッション支援」の最新情報をさっとお知らせします。スティーブ・ホワイトさんに上がってもらい、「フィリピン宣教」について話してもらいたいです。スティーブ・サントス牧師から、ラハイナの現地にいるチームのため、そして、ラハイナの住民や家族のために具体的に祈ってほしいと依頼がありました。その理由は、この全てが起こった場所が解放され、人々はそこに戻っています。この出来事が起こって以来、ほとんどの人が、ラハイナのかつて家があった場所にまだ戻っていません。今回初めて行くのです。本当に本当に辛いことです。ですから、彼らのために祈って下さい。現地で人々を支援しているチームのために祈って下さい。スティーブはまた皆さんにこう伝えてほしいようで、実際、書いてあることを読みます。「皆さん（あなたの人々）に伝えて欲しいのは、（皆さんは、私の人々です。）家内のキム、私、そしてカルバリーチャペル・ウエストサイドにラハイナの人々への皆さんの祈りに、心から感謝しています。」

この教会の家族とこの尊い牧師夫妻に寄り添うことが、どれほどの影響をもたらしたのか計り知れません。では、スティーブ・ホワイトさん。上がってきてください。私には、スティーブという名の友人が二人いて、スティーブ・サントス牧師と、こちら、スティーブ・ホワイトさん。— 拍手 —

スティーブ：ありがとう、友よ。

JD 牧師：これだ。準備するよ。いいよ。大丈夫。スティーブ：管制センターだ。JD 牧師：はい。これは機密扱いだからね。— (笑) — それでは、、、皆さん、おはようございます。(タガログ語)

心配しないでください。今朝は、タガログ語は話しませんから。が、とにかく、キリストの体ここカルバリーチャペル・カネオへに戻り大変嬉しいです。どれくらいか、、、先回、来たのは2月で、妻と娘と一緒にでした。今回は一人で来ました。子ども達はまだ学校があるからです。でも、戻れて嬉しくて、この1週間、御言葉とフェロシップに浸り、リフレッシュして、あと1週間で戻る準備をしています。ですから、、、この1週間、「第一コリント人への手紙 12 章」を学んでいて、パウロは、キリストの体は多くの部分から構成されていて、私たちは他の兄弟姉妹なしに存在し得ない、と説明しています。私たち一人ひとりが、キリストの体において不可欠な役割をしていて、それが教会ですね？ 私たち一人ひとりが、神の働きに必要で、神が私たちのうちで、私たちを通して、なさっておられます。ですから、フィリピン宣教ミニストリーを代表して、皆さんの積極的な関与、祈りと愛情に満ちたサポートに感謝します。ですから、フィリピン宣教ミニストリーを代表して、皆さんの積極的な関与、祈りと愛情に満ちたサポートに感謝します。最後にお送りした7月の最新情報は、玄関口にチラシが置いてあります。持っておられない方は、玄関口にあるので、ご覧ください。その裏に書いてあるのは、祈りのリクエストです。神は私たちの祈りを聞かれ、答えられます。ヤコブが書簡5章16節で語る通り、「正し

い人の祈りは、働くと大きな力があります。」その祈りが大いに有効だったと報告できるのが祝福です。私の最初の祈りのリクエストの最新情報は、夏休みの間に教室拡大の機会を祈っていました。その教室は、建設当初は大変小さく、生徒が15人ほどしか入れない教室もありました。主は私たちに祝福くださり、それらの教室を倍の大きさにされ、今や、小学校の各教室に30人の生徒を受け入れることができるようになったのです。去年の生徒数は229人でした。今は300人近い生徒がいます。その増加に、主を褒めたたえます。大変祝福されています。さらに、新しい理科実験室も増設することができました。これはフィリピンの教育省が高校生に義務付けているもので、それを持って上、思いがけず、図書館とコンピューター室を改装できました。ただ、全ての栄光を主に！！ もう1つの祈りのリクエストは、新しいエアコン設備でした。私たちは、10年以上前の古いリゾートのお下りの古い窓用設備でしのいでいました。全く効かなく、電気代がかかるだけでした。神を褒めたたえます。私たちは各教室に新しいスプリット・エアコンを提供され、祝福されました。子供達は、教室で汗をかかなくてもよくなりました。また他の素晴らしい祝福で、祈りの答えです。パナイ島の別の学校の事、先住民アティ族の学校について、その事務所が当初建てられた時、私たちが学校を始めた時は、アティ族の生徒は約12人でした。その年の終わりには、2倍の24人になりましたね。現在、200人以上の生徒がいます。ですが、天井が10年以上前の木で建てられたもので、シロアリは木材が大好きです。シロアリは、私たち以上に私たちのオフィスで過ごしていました。夏の間天井を解体し、コンクリートを天井と床に打ち上げることができました。それは大変大きな祝福で、同様に祈りの答えでした。そのことで主を褒め称えます。同時に、私たちの学校は、先生にとって、移行のためのような学校で、先生は学校に行き、先生になりたければ、学位を取ります。公立学校の教師は、私たちが提供できる賃金の約3倍の給料をもらいます。でも、公立学校に入る前に2年間の経験が必要です。彼らは私たちのところに来て、2年の経験を積み、次に進みます。ですから、今年の夏は11人の先生が移動し、新しい11人の先生が必要でした。神を讃えます。不足が満たされました。11人の新しい先生と、3人の新しいスタッフを与えられました。そのことで神を讃えます。また、牧会活動を始めて9年になりますが、パンデミックで止めていました。その働きをこの3月に再開でき、毎月、牧師や教会指導者を周辺地域から招き、2日半を島で過ごします。マニラから教授を招き、彼らに正式な神学校の学位を与えます。実際に4年間、月に1回来れば、神学校の学位を取得し、正式な訓練を受けることができます。それが力強く続いています。毎月100人以上の牧師や教会指導者を養成し続けています。そのことに感謝します。そして最後に、私の心の重荷の一つは、「ルカの福音書10章2節」でイエスがこう仰ったことです。

**「収穫は多いが、働き手が少ない。だから、収穫の主に、ご自分の収穫のために働き手を送ってくださるよう祈りなさい。」(ルカ 10:2)**

数年前、私はそこで宣教の責任者に任命され、それがその日に起こったことで、私は妻のヘリンに向かって言いました。私たちは働き手のために祈り始める必要があると。私たちは2つの学校、神学校、給食施設、現在は大学の宣教を含め、全体で900人近くを統括しています。神を讃えます。またもや祈りに答えられました。この9月、神はマニラからジョーイとアイリーン・デル・ロサリオを遣わされ、大学進学を目指すアティ部族の生徒を指導させられました。私たちは現在25人の大学に進学するアティ族の生徒がいます。素晴らしいです。肌が黒く、髪がクネクネしているため、社会から敬遠されてきた人々です。彼らは島の生粋のフィリピン人です。彼らはボラカイ島に住んでいましたが、リゾート開発と経済のために島を追われ、本土に移住しました。彼らは一種の移民グループで、本土に移住してきたのです。10年

前、私たちはそこに学校を作りました。今、200人以上の学生に奉仕しています。今年は大学生を迎えて2年目です。ジョーイとアイリーンのことで神を褒め称えます。ジョーイは、アメリカで生まれ育ったフィリピン人で、1年ちょっと前にマニラに引っ越してきました。彼の妻は生まれも育ちもマニラのフィリピン人で、彼女は言語学の教育学博士号を持っています。アティ族の英語を学ぶ意欲を高めるのに最適です。大学では、教授たちは英語しか話さないからです。神を褒め称えます。神は、私たちが想像もしなかった方法でミニストリーを祝福し続けておられます。神が人々を通してどのように働かれるか、ただ驚くばかりです。機会を作りだされ、キリストの体を強化しておられます。皆さんの全ての祈りと愛に溢れるサポートに感謝します。あなたがたなしでは、成し遂げられませんでした。神にご栄光を。ありがとうございます。一拍手喝采一

スティーブ：アロハ。ありがとうございます、JD。おお、、、私はあの人大好きです。神はいつも与えられますね。それでは、、、私たちは今日、「第二 ヨハネの手紙」を終えます。いいですね。良い心構えです。今日の箇所は、10節から14節です。誰かが、これは手紙ですらなく、ハガキだと言いました。私たちは、このハガキを学び終えます。ヨハネの2枚目の13節あるハガキを。可能な方はご起立いただき、ご無理なら、座ったままでも結構です。私が朗読するのについて来てください。聖霊に導かれ、ヨハネはこう続けます。10節、

一 || ヨハネ 1:10 ||

あなたがたのところに來る人で、この教え（イエス・キリストの健全な教理）を携えていない者は、家に受け入れてはいけません。あいさつのことばをかけてもいけません。

一 || ヨハネ 1:11 ||

そういう人にあいさつすれば、その悪い行いをともにすることになります。

一 || ヨハネ 1:12 ||

あなたがたにはたくさん書くべきことがあります、紙と墨ではしたくありません。私たちの喜びが満ちあふれるために、あなたがたのところに行って、直接話したいと思います。

一 || ヨハネ 1:13 ||

選ばれたあなたの姉妹の子どもたちが、あなたによろしくと言っています。

ご一緒に祈りましょう。主よ、ありがとうございます。今日、私たちの前にあるあなたの御言葉の箇所に感謝します。主よ、私たちは今一度、あなたの御前に謙虚になって姿勢を正し、この手紙の最後の箇所であなたが私たちに見せられたいことを、聖霊が私たちに教えられ、私たちの目を開かれる必要性を即座に認めます。ですから、主よ、聖霊の静かな小さな精錬された御声で語られ、聖霊が私たち（私も含め）の注意を引き、保ち、私たちによくありがちな思いが迷わないようにして下さい。私たちは何事にも気を散らされたくありません。私たちの人生には、この世の問題やストレス、煩わしさ、気を散らせることがたくさんあり、多くのことが私たちの注意を掻き立てます。私たちは、今日、あなたが私たちの人生に語られることに全集中したいのです。ですから、主よ、そうして下さいますか？ 私たちはあなたにお願いします。お語りください。あなたのしもべたちは聞いています。イエスの御名によって、祈ります。アーメン、アーメン。

ご着席ください。ありがとうございます。では、私が今日お話ししたいのは、クリスチャンとして私たちが誤解を避けるためにすべきあらゆる努力の方法とその理由です。使徒ヨハネは、聖霊の導きによって、この件に関して、最も興味深い方法で第二の手紙を終わらせているからで、一読しただけではそう簡単

にはわかりません。つまり、それはあなたの基準で、少なくとも、ヨハネは、、、この手紙の締めは、前の手紙の締めと違って、皆さん、第一の手紙の最後を覚えてますか？

### 「偶像から自分を守りなさい。」(1ヨハネ5：21)

じゃあね。少なくともここでは、あいさつをして、良い終わり方ですね。が、それが手紙の終わり方です。手紙の始まりでさえ、、、私たちって、手紙の始まりと終わりをさっと読み飛ばしがちです。ここは形式的だから。中身を読もう。本題に入りましょう。ところで、それは、、、昔のフィルム/映像についての慣用句で、、、若者にはわかりませんよ。いいですけど。昔は、フィルム/映像だったから、切って、場面/シーンを編集して、見せ場まで余分な箇所をカットしました。これに追加料金はかかりません。見せ場に入る・単刀直入/cut to the chase。ですから、はい、、、ヨハネは、本題に入るつもりだといえるかもしれません。ヨハネがここで私たちに見せたいのは、聖霊が最後にこの終わりをさっと読み過ぎさないようにここに書くように導かれたことです。ここには、今日、私たちのために何かがあるからです。私はそれらを「注意喚起」として参照します。再度、注意喚起。注意、警告、戒め、是正、叱責。愛する愛の使徒からです。それほどヨハネは気にかけているからです。ヨハネが彼らに、こんにちの私たちに警告しているのは、当時、ヨハネが彼らに警告したのは、先週話した、偽りのイエスの替え玉を携える偽教師たちを、自分たちの家に入れるのに細心の注意を払うことでした。ヨハネはまた、そうしながら、聖霊の導きによって、望ましく誤解を避けるため私たちに「注意喚起」を促します。しかし、実に終わりになると、理由は何であれ、避けられなかった誤解を解くために、私たちにできることも示します。それが私たちの中にある限り、私たちにできる限りの。時には誤解もあるからです。あなたはそれを解決したい。ですから、双方に対処できるように。描写を使いますが、気に入ってもらえたら嬉しいです。気に入らなければ、ごめんなさい。ちゃんと準備すれば乗り越えられる。(直訳：橋を架けて、乗り越えろ。)ー(笑)ー 車の描写で、すぐ意味がわかると思います。80年代、私は車の事業をしていましたが、メルセデス・ベンツで働いていた当時、メルセデスは、アンチロック・ブレーキ・システム通称ABSという新技術の最先端でした。これは80年代の話です。これは、、、これは驚く技術です。私はドイツの工場に行きました。メルセデスが旅費負担する旅行が当たりました。ともかく、ごめんなさい。フラッシュバックだ。めっちゃかっこよかった。アウトバーン(ドイツの高速道路)では、車は同じ方向に進み、私の場所からみて:(車が)時速180マイルで、シュツ、シュツ、シュツ...同じ方向に走るんです。反対方向の車は見えさせません。制限速度はありません。ともかく、再度ごめんなさい。話が逸れましたが、ここに素晴らしい描写がありますからね。アンチロック・ブレーキ・システムです。これが当時私たちが教えられたことで、安全機能で、どのような時に、、、もちろん、ここはハワイですから、本土出身で、雪の上を運転したことがなければ、、、ブレーキを踏み上げねばならず、そうすればブレーキはロックされず、滑ってコントロールを失うこともない。気にしないで。ー(笑)ー 本土に住んでいたときは(この話は)うまくいきました。アンチロック・ブレーキ・システムとは、ブレーキを1秒間に15回振動させるコンピューター制御の技術で、ロックを防ぎ、制御を失いません。今、皆さん、車お買い上げ。ー(笑)ー 私はもう業界にはいませんけど。わお! とにかく、それは能動的な安全機能と呼びます。お付き合いください。景色の良いルートで行きます。話の向かう先があります。能動的な安全機能が作動し、事故からあなたを守ります。事故を避けるためです。いいですか? ヨハネは誤解を避けるために、いくつかの能動的な安全機能を示します。さて、とにかく事故に遭ってしまったとしましょう。その時は、エアバッグの出番です。能動的な安全機能じゃありません。受動的

安全機能です。アンチロック・ブレーキ・システム：ABS は、事故からあなたを守るためにあります。エアバッグは、受動的な安全機能で、事故時にあなたを守るためにあります。今の良かったです？

そう思いましたけど。気に入っていただけで嬉しいです。あなたが気に入らなくても、私は良いと思っています。ええ、大変良いと思います。このような前置きをしたのはなぜか？ ヨハネは、誤解による事故を避けるため、いくつかの能動的な安全機能を私たちに示すからです。ヨハネは、エアバッグも私たちに与えます。熱風エアバッグや大ぼら吹きではありません。すでに1つありますね。ヨハネは、私たちが誤解という事故を回避できない場合に備え、受動的な安全機能を示します。そう、ここまでが私の導入でした。準備はいいですね？ 帰りたいですか？ 下を向いていましょうか？ — (笑) —

1つ目は10節です。「ある特定の付き合いを避ける」そう、ここでヨハネは、私たちの家に偽の教えを持ち込みたい人たちを歓迎したり、関わってはいけないと明言します。モルモン教やエホバの証人が思い浮かぶのは間違いありません。お付き合いください。これは重要だからです。これは現代の私たちにも当てはまります。私たちは彼らを家に迎えてはなりません。偽のイエスを連れてくるからです。それがどのように見えるかを見て下さい。あなたが彼らを歓迎するなら、クリスチャンでない人に、「兄弟よ、神の祝福を。」と言うようなものでしょう。彼らはあなたの兄弟ではありません。

### 「約束もしていないのに、二人の者が一緒に歩くだらうか。」(アモス書 3：3)

ここですぐわかりますが、彼らと交われないということ。彼らと同じイエスを分かち合うことはできません。真のイエスを彼らに分かち合わないとは言っていません。ただ、彼らが偽イエスを持ち込むために、居間や食卓テーブルを与えてはいけません。あなたの家にイエスの替え玉が入り込むからです。付き合いには細心の注意を払ってください。修道生活を送るという意味ではありません。私たちは世にいますが、世のものではありません。これが大きな誤りだと信じる理由です。クリスチャンとしかビジネスをしたくないという時点で、私たちは大きな間違いです。じゃあ、どうやって(地の)塩、(世の)光になるんですか？ 実話です。随分前、、、ステイブ、あなたがこう話しましたね。「この人たちも私の民です。くねくねの髪で、、、」ね？ — (泣) — 以前は、私の頭の上にたくさんあったんですけどね。昔、私はヘアカットするのに一番難しい髪でした。私の髪を切った人たちは、私に髪を切りに戻ってきて欲しくありませんでした。本当の話です。入店して歩いていくと大きなサンドイッチ看板があって、「入店歓迎」とあります。よし。私の髪は大きなアフロで、入店すると、彼らはこう言います。「予約でいっぱいです。」わお！ とにかく、私はただ奇妙な髪で、それは、、、楽しくないです。

私は電話せねばならず、髪を切ってくれたのは実は私の良い友人で、彼だけが快く引き受けてくれました。彼が辞めて引っ越すと、私は、新しい美容師を探しました。床屋にはもう電話しません。まだあるんでしょうけど、美容師に電話します。私は電話をかけ回し、こう言います。「聞いてください。私の髪は奇妙でね。中東出身です。この髪を切るのは本当に難しいらしいんです。あなたの店に経験豊かな誰かいますか？ 髪を切りたいので予約を取りたいんですが。」髪を切りたかった頃の話でね。電話の女性が言いました。「実際のところ、私がお受けします。」それで彼女に予約を取り、店に行って彼女が私の髪を切りました。因みに、本当に良い仕上がりでした。私は主を分かち合い、彼女は救われました。想像してください。もしクリスチャンの美容師を集めた一覧表を見ていたとしたら。「私はクリスチャンとしか取引しません。」わお！ コミュニオン(生活共同体)で暮らしたら？ どんな成果があるでしょうね？ 殺人願望や自殺願望が芽生えるでしょう。彼らがエルサレムに留まり、ユダヤやサマリアに行かなかったのに、彼らが命じられた通り、地の果てまでなぜ迫害が起こったと思いますか？ 彼らは、出て行かずそ

ここに留まり、クリスチャンとしか仕事をしようとしなければ、どうやって私たちは福音を宣べ伝えるのか？ 私たちは迫害を始め、彼らを散らせます。あるクリスチャンの牧師が言ったことを気に入っています。ちなみに私の車の描写より良いです。彼はこう言いました。気を悪くしないでください。気を悪くしたら、私ではなく、借用したのですから。「クリスチャンは肥やしのようなもの。(いえ、待って。待って。) 集まるとクサイ。撒くと、肥料になる。」私がそれを考えたらよかったのに。私のよりずっといいでしょ？ でも、そこが重要です。私たちはモルモン教徒を真のイエスに導きたいです。私たちはエホバの証人を真のイエスに導きたいです。でも、そういうやり方じゃない。それをすると、あなたは彼らに、彼らが良いものだとの偽りの評価を与えていることになります。彼らはそうじゃないのに。あなたが彼らと付き合うという事実だけで、彼らにこう思わせます。「ねえ、私たちは同じ神を礼拝してるよ〜。」違います！私たちはそうじゃない！！「お邪魔して、ご家族と一緒に

モルモン書を分かち合ってもいいですか？」これも実話です。別に、事実でないことを話しているわけじゃありません。誰かがこう言うのを聞いた時、「正直になってもいいですか？」「今まで私に正直じゃなかったの？」もう一度言わせてください。何年も前の、実話です。いいですか？ エホバの証人がやって来ました。モルモン教徒は来ませんでした。理由はともかく、わかりません。誰かがあの家には行くなと言ったと思います。でも、エホバの証人はそのメモを受け取らなかったんですね。で、彼らは現れ、近づいて来ました。彼らは私の住所をリストから削除し、二度と戻って来ませんでした。理由は、私は彼らを歓迎しなかったから。「おお、やあ。」私はこう言いました。「おいっ！何してんだ？」

「お〜、ものみの塔\*を渡して、伝えたいのは、、、」(\*エホバの王国を告げ知らせる ものみの塔) 実に、これは悲しいことです。それが彼らが救いを得る方法で、行いです。彼らはそうせねばならないのです。ハワイでは、貿易風じゃないですか。彼らモルモン教徒は、、、 気の毒です。彼らは、シャツのボタンを閉めネクタイを締めねばならない。大変暑い。自転車でエアコンなし。スティーブ、お下がりエアコンもない。彼らがそれをする理由が分かりますか？ 彼らはせねばならないからです。

私は彼らを歓迎して、家に入れるつもりはありません。しかし同時に、真のイエスについて彼らに知ってもらいたいです。私のすることは話しません。まず、私がすることをしないでください。私の言うことをしてください。私のすることはしないでください。でも、良くなりました。もちろん、彼らはもう戻って来ません。で、私は少し下手になりましたけど、最後には、私はただ彼らにこう言いました。

「あなたが私に伝えたいイエスは、聖書のイエスではありません。 聖書のイエスは神だからです。」おそらく皆さんは、モルモン教徒やエホバの証人と対話したことがあり、その共通点はイエスが救い主キリストであり、上記のすべてです。しかし、イエスが神か彼らに聞いてみてください。彼らは同意しません。反対します。では、彼らを迎え入れて何をするのか？ 因みに、彼らはいつも専門家を連れてきます。モルモンの経典学者と一緒に来ます。高度な訓練を受けた人です。彼らはクリスチャンよりも私たちの聖書をよく知り、自分たちの聖書を知っています。彼らはすでに、私たちが尋ねる正確な質問とその答え方を知っています。私たちを迷わせるために。モルモン教のイエスをご存知ですか？ あまり極端なことを言いたくないですが、大局的に見ると、これがどれほど深刻で、このような者たちを家に入れることに関してヨハネが私たちに警告を発し、私たちを戒めるほどのレベルにまで高める理由です。当時はグノーシス主義でした。現在では、モルモン教徒とエホバの証人です。モルモン教のイエスはルシファーの異母兄弟だと教えているのをご存知ですか？ よしてくれ。私があなたたちを迎え入れるかって？ そう思いません。彼らに機会を与えないでください。これは個人レベルの話で、当時それが彼らが

していたことだからです。彼らは家から家へ行きました。今、私たちが生きている世は違いますが、それでも変わりません。ソーシャル・メディアにはどんな友達がありますか？ あなたのプラットフォームに何を投稿させますか？ それが気に入ってますか？ あなたはそれに賛成ですか？

あなたはこんな風に、「神を褒め称えます、兄弟。」彼らは兄弟じゃありません。彼女たちはあなたの姉妹じゃありません。「イエスを讃えます！」それは間違ったイエスです。それと関わりたくありません。そんな関係を持ちたくありません。「第一コリント人への手紙」15章33節を聞いてください。

### ー 1コリント 15:33 ー

**惑わされてはいけません。「悪い交際は良い習慣を損なう」のです。**

因みに、特に若いクリスチャンは大変脆弱で、敵はそれを知っています。あなたの背中には大きな的があります。彼らはプロです。非常に長けています彼らは、若くて脆弱な信者を餌食にできると知っています。神の御言葉に関して、その装備が不十分だから。彼らがこんな風に言い始めたら、「おお、胸に温かいものを感じれます。あなたは感じますか？」「私はわからない。えっと。」ここ（聖書）のどこにそれがありますか？ それって、、、誰について話しているの？ 何について話しているの？ なぜまだ話しているの？ ー（笑）ー この格言を聞いたことがありますか？ 「犬と一緒に寝たらノミがつく」あれ？ そんなに気に入らなかつた？ いいや。「第二コリント 6章14節」を聞いてください。

**「不信者と、つり合わないくびきをともにしてはいけません。...」（Ⅱコリント 6:14前半）**

これは農業用語です。彼らは牛を2頭連れて行き、くびきをかけました。不平等なくびきになり、強い方が弱い方を殺してしまいます。くびきをともにしてはいけません。彼らと一緒にならず迎え入れないでください。その理由は、

**「正義と不法に何の関わりがあるでしょう。」（Ⅱコリント 6:14中半）**

ちょっとこのまま、ヨハネがすぐに語ります。

**「正義と不法に何の関わりがあるでしょう。光と闇に何の交わりがあるでしょう。」（Ⅱコリント 6:14中半～後半）**

私はあなたには賛成できません。私はあなたに同意して歩めません。私はあなたを歓迎できません。あなたとは付き合えません。それは、よく言えば見せかけ、悪く言えば不正直だからです。あなたの話すイエスが、私の個人的に知る聖書のイエスと同じ印象をあなたや他の誰にも与えたくないからです。

では、ヨハネは11節でさらに踏み込みます。この注意喚起は、「悪の形/現れを避ける」ここで、ヨハネが説明するのは、私が「何」の背後の「理由」と呼ぶもので、「見かけの付き合いによって、同罪になる」お付き合いください。言い換えると、「連帯責任」の意味をご存知ですか？ ですから、その事実によって、あなたは彼らと付き合いがあり、一緒に姿を現し、意見が一致しているように見えます。ヨハネは手加減しません。ヨハネがこれほど強く言うのは、何かを伝えたいのです。理由は、基本的にヨハネはこう言います。偽イエスの替え玉と共に偽教師をあなたの家に、或いは、牧師よ、神が禁じている説教壇に迎えるなら、共犯のように見えるだけでなくあなたは実際に、彼らの邪悪さを分かち合い共有することになる。あなたは、異なるイエスを持つ誰かに加担し関係します。今、あなたは連帯責任です。

どう見えるか見てみなさい。邪悪と悪の姿/現れその共有。聞いてください。「箴言」13章20節、

### ー 箴言 13:20 ー

**知恵のある者ととも歩む者は知恵を得る。愚かな者の友となる者は害を受ける。**

そのことを肝に銘じましょう。誰か、、、あ～やめた方がいい。話したいんですが、話しません。

「第一 テサロニケ人への手紙」5章 22節、危ないところでした。パウロの語ることを聞いて下さい。

ー 1 テサロニケ 5:22 ー

「あらゆる形の悪から離れなさい。」

ただ悪から離れるだけではなく、少しでもそのような（悪の）形/現れに見えるものから離れなさい。悪の形/現れに見えるものには離れて、近づかないこと。人々はあなたが誰と付き合い、誰と一緒にいるか、誰と友達かを見ているからです。あなたが交際する仲間や友人と、加担する関係で知られているなら、すると突然、この新しい信者はどうなりますか？ どれ程つまづくでしょう？ 新しい信者は、あなたが彼らと一緒にそれをしているのを見るからです。では、3つ目に行く前に必要なことがあります.....ちょっとみんな落ち着いてください。OK？ ー（笑）ー

私は、、、ねえ、ちょっと待ってよ。これが3つ目で、残りの時間をこれに費やしたいのは、理由は明白だと思います。誤解は避けたいですね？ ですから、私たちはある特定の関係を避け、いかなる邪悪な形/現れも避けます。ですが、可能な限り「メールを送るのは避ける。」12節と13節からどうやってそれを読み取ったのですか？ お聞きくださり大変嬉しいです。牧師はあり得ますからね。ヨハネが言うには、他にもメールしたいことがたくさんある、いえ、手紙を書きたいけど、ペンと紙もしくは、

「紙と墨ではしたくありません。」(IIヨハネ 1:12参照)

当時は。(紙と墨)たくさんあって、メールするには多すぎる。もちろんテキストでは済みません。絵文字もしかり。絵文字大好きじゃないです？ この表現を聞いたことがありますね、「1枚の絵(写真)は1000の言葉に値する」(百聞は一見に如かず) 1つの絵文字は1万語に値すると思うことがあります。絵文字だけ:おお、それで十分。絵文字だけで。私はたまたま全種類を持っていて、常に新しいのが出てきます。お気づきですか？ 絵文字だけ。それが、私たちの現状です。(苦笑) 説明します。幾人かは、説明がいるかのように私を見ているので、してみます。そう、あなたはその人に会えません。相手がメールを送ってきても、直接 会って話せない。これがヨハネが言っていることです。伝えたいことはたくさんありますが、メールや電話では伝えたくありません。直接 会って話をしたいです。保持率の統計、割合を聞いたことがあると思いますが、ボディランゲージによって、どれだけ伝えられるのか？ 電話でどれだけ伝えられるのか？ しかし、顔と顔、目と目、腹と腹を合わせるのに匹敵するものではありません。私からすれば、何よりも腹と腹。それがヨハネが言うことです。ヨハネはこう言います。

「誤解のないように、もう私はこれを書きません。Eメールを送りません。テキストもしません。電話もしません。直接 会いに行きます。」さて、私は、、、ここは非常に注意した方がいい。メールやテキストが大好きなのは、自分の言いたいことを本当に考えられるから。一方、私が会話する場合、、、言わなければよかったと思ったことがありますか？ あるいは、どうでしょう？ こう願ったことは、、、

そう言えばよかった。でも、いつも遅すぎる。で、メールを送りたくなる。そうしたかったんだけど、、、遅すぎる。あなたはその瞬間を逃しました。しかし、これはメールにも言えることで、送信しなかったメールを後悔したことはありますか？ 逆に、送信を押したのを何度 後悔したことがありますか？ ある人が話してくれました。実際、最近これを見ました。送信後にメールを取り消すことができる。ある一定の時間だけなのはご存知ですね。しかし、その問題は、リクエストを送らねばならないことです。「あのメールは取り消したい。」なぜ？ ほとんど最悪です。取り消したいのなら、そもそもなぜ送ったのですか？ それでも、(取り消せる)一定の時間があります。聞いてください。メールが非常に適切な場合があります。じっくり考える余裕があるからです。私にはルールがあります。もっと早くこれを学んでいれ



ばよかったと思います。私はこれを苦勞して学び、それを証明する傷跡があります。もっと早く決断していれば....と後悔する決断は、いつも良い決断です。これをもっと早く知っていればよかったのに。しかし、私はメールを送らずに、下書きフォルダに保存して寝ます。眠り、メールについて祈ります。時に、送信を押す前に、1度以上読み返します。おお、なんということ、何度 言ったことでしょう。「イエスよ、そのメールを送らなかったことを感謝します！ おお、送信を押す前にあなたと話してよかった。実際に、送信を押したり編集しないだけでなく、まったく送信もしません。あなたがそれを送るのを止めてくれて本当によかったです。」

大変誤解が生じ得るからで、メールやテキストでは伝えられないことがあるからです。絵文字はいいですけど(笑) テキストやメールでは、便利なのは間違いありません。また、あなたの伝達をデジタル参照してくれます。それは良いことです。何も問題ありません。再度、それが非常に適切で、ある種の対面よりも適切な場合もあります。私たちは皆、その傾向があって、パウロが言いました。「自分の肉のうちに善が住んでいないことを知っています。」(ローマ 7:18 参照)

自分のうちにあるものが、眠っていて、出てくるのを待っている。(ローマ 7:18 参照)

私たちは皆、その傾向があります。書いて送ることもあるし、手紙にすることもあります。以前それをしました。手紙を送ったり、書いて誰かに渡したり、メールを送ったりします。私が直接 話す時、事態は急速に悪化するとわかっているからです。感情が絡むからです。それは、そのような時のための保護であり、保護機能です。ちなみに、それが見極めです。聖霊が見極めを与えてくださいますが、しかし、そのメールを送ることで、不必要な誤解を招くこともしばしばあります。私がそう言うのには理由があります。大変不必要でした。あなたは、それを構成し、祈り、再読し、送信する前に編集し、これを伝える事を確認したから。しかし、そのメールを受け取ったとき、彼らはそうは捉えず、代わりにこう捉えました。SNS であなたをブロックします。あなたは本当に問題だと知ります。ここに巨大な誤解があります。あなたにメールを送ったのは、説明したいことがあったからです。実は、誤解を解くためにメールを送りましたが、メールを送ったことでさらに誤解を深めてしまったようです。物事をはっきりさせようとしたのに、さらに悪化させてしまいました。実にこれが、なぜヨハネはヨハネが言ったことを言うのか、なぜヨハネは彼が書いたことを書くよう導かれたのか、です。対面すると、親睦が深まるからです。スティーブも言っていたことですが、、、、もちろん、2020年に全てが変わりました。

二度と元には戻りません。すべてがバーチャル仮想的になりました。多くのものが失われてしまいました。それについては話しました。触れません。話したいですがしません。社会的な距離を置くことは、神が私たちが造られた方法に全く反します。お互いに触れ合ったり、抱き合ったりすると、オキシトシン(幸せホルモン)が分泌されます。神が与えられた快感化学物質です。このことは何度も証明されています。何年も前ですが、孤児院で赤ちゃんたちが死んでいきました。理由がわかりませんでした。ついに、誰かが、、、、私は信者が言ったと信じますが、誰も赤ちゃんたちに触れず、抱きかかえたり抱っこや歌いかけもせず、愛情を注いで育てず、あの小さなベビーベッドに置いていただけ。私たちには人間的な触れ合いが必要です。人間同士の交流が必要です。孤独についての研究がされていますね。致命的です。孤独、孤立は致命的です。社会的な交流がないと、脳の配線が変わってしまいます。彼らは、私たちに社会的距離を置かせたい？ 歌も歌えません。脳の両側を使っているのは、歌っている時だけだご存知ですか？ これはデカイです。あなたが歌っている時が。ご存知でしたか？ 神が私たちがそう造られたからです。私たちは永遠で何をしたいと思いますか？ 主を礼拝するんです。

♪ ふさわしい、ふさわしい、屠られた子羊 ♪ (黙示録5章参照)

それが音楽が非常にパワフルな理由です。以前にも話しましたね。顔と顔を合わせると、あなたは、、、これが神が創造された方法で、触れ合い、抱き合い、聖なる口づけで挨拶を交わす。それがフェローシップで、共にパンを裂くこと。助けとなり、どんな理由であれ、くだらないメールを送ったために避けられなかった誤解を解くのに役立つ環境を作ります。再度、これは言い過ぎではありません。双方とも、そもそも誤解を避けるために、霊的な識別と上からの知恵を求めなければなりません。そして、不幸にして誤解を避けられなかった場合は、誤解を解くために、霊的な識別力と上からの知恵が必要です。つまり、私たちは見極めて決断せねばなりません。再度、これは大変重要で、私がまだ学んでいることでもあります。何年も経てば分かると思うでしょうに。私は今、独り言を言っています。皆さんお気づきでないでしょうけど。皆さん、ここにいなくてもいいですよ。ー (笑) ー

私はただつい引き込まれるのは、隣の人と同罪で、腕まくりして、「たまには喧嘩もいい。さあ、やってみろ!!」そう、休眠状態だった私の肉がいる。礼拝の前は、私は大変霊的で清く、神聖です。礼拝後は、、、妻はとても忠実です。妻が私を大変愛しているとわかるのは、彼女が私に真実を語るからです。彼女はいつも私にこう言います。「わお! 牧師さん。」ー (笑) ー おお! おお! おお!

そう、皆さんには、「自分をクリスチャンだと言うのか?」私には、「自分を牧師だと言うのか?」ー (笑) ー そう、私は隣の人と同じ傾向がありますからね。誰かがやって来ます。彼らは答えを求めているわけではありません。彼らは議論したいだけ。しかし、それは問題じゃなく、問題にもなりません。

この問題とは、「喜んで受けて立つぞ。」ー (笑) ー ですから、私にとっては、メールの方がいいのかもしれませんが。ですから、私からメールが届いたら、主を褒め称えてください。OK? 理由は、、、私は、、、私がどれほど穏やかでおとなしいか、ご存じですね? ー (笑) ー 私はただ平凡なだけ。いいえ! 私の国の習慣。言語でさえ。アラビア語ですよ。ただ愛の言葉を話しているだけなのに、相手を罵っているように聞こえます。アラビア語とドイツ語、この2つは最も荒っぽい言語です。フランス語なんて大変滑らかです。ー (笑) ー これが私の話で、拘りです。おい、やるって言うのか! やろうじゃないか! 止めるべきでした。格言をご存知だと思いますが、「やめておけば良かった。」(直訳:勝っているうちにやめる)でも、わかりません。私は...私は牧師ですから、もっと見極めるべきでした。

彼らは答えを求めています。彼らは議論を求めています。その責任は私にあります。私は交戦するつもりなのか? アドレナリンが出ることもあるから。いやいや、本音で話しましょう。アドレナリン。何のことかわかりますね? アドレナリンが出ると、つまり、あなたは...。もう止めた方がいいですね。大変罪の示しがあります。でも、あなたは、、、気がついたら、「おお、そうだ!」つまり、あなたはやってしまいます。議論に勝つかも知れません。あなたは機会を失い、関係を破壊し、おそらく取り返しのつかないダメージを与えます。箴言では、

「反抗する兄弟は堅固な城よりも近寄りにくい。」(箴言 18:19前半参照)

私たちは本当に人を傷つけ、危険な存在になり得ます。こんな言い回しをご存知でしょうけど、なんて嘘でしょうか。「棒や石は私の骨を折るかもしれないが、言葉は決して私を傷つけない。」(そんな人の言葉を気にする必要ない) これ以上の嘘はありません。真実を言えば、「棒や石は骨を折るけれど、言葉は間違いなく打ちのめす。」いのちは舌にあるからです。いのちと死は舌のうちにあるからです。私たちが話す言葉は、恵みに満ちたものであるべきです。しかし、私たちは見極めねばなりません。この人は純粋に答えを求めているのか? 私は喜んで受けて立つからです。それについては『聖書預言・アップデート』

で話しました。：準備万端でいなさい。あなたにある希望の理由をあなたに尋ねる全ての人に、答える用意しておきなさい。彼らには希望がないからです。彼らはあなたが持っているものが欲しいので、それについてあなたに尋ねるでしょう。その鍵は、彼らが尋ねなければなりません。自分から進んでしないでください。再度、私たちが大きな間違いを犯すのは、、私たちの意図は正しいですけど、私たちは正しいことを間違った方法でしています。しかし、(地の) 塩と (世の) 光、塩は渴きを生みます。私たちは好奇心を生み出したいのです。彼らは私たちの人生を見えていますね？

「この男はどうしたんだ？ すべてが崩れ落ちようとしているのに、彼は上を向いている。なぜ上を向いているのか？」街角にいるような感じで.....。第一礼拝でこれについて話しましたが、あなたは街角にいて、交差点で、歩き出すのを待っている。そしてあなたが顔を上げると、他の人々は「何をしているの？ 何を見ているの？」「周りのみんなは怖がっているのに、あなたは上を見ている。ちょっと興味がある。なぜ？」そして、あなたが答えます。彼らは純粋に答えを求めています。あなたが持つ希望について彼らに答える準備が必要です。でも、彼らが議論を求めているなら、マック牧師かレイトウ牧師に会わせませう。－ (笑) － 私は自分をさらけ出しただけです。あなたが私のところに来たら、私はこう言います。『マック牧師、こっちへ来てください！』それが理由ではなく、おそらく、、私は本当にやっつけましたか！？ それは、私がおそらく人の列に敏感でありたいからです。人々は待っています。私が自分のことを暴露した後でも、個人的に捉えないでください。マック牧師、私のためにそれらのことを引き受けてくれてありがとう。－ (笑) － 最も素晴らしいことがあります。ほとんどおしまいですからね。でも、ここには本当に分かち合いたいことがあり、最も魅力ある記述で、使徒パウロは、この点に関して、誤解を避けようと、コリントの教会にあらゆる努力をしました。コリント人への手紙ですよ。是正の手紙について話しています。それはハガキではありませんでした。その内容は膨大で、肉欲的なコリント教会を正すものでした。明らかに、ある誤解があり、パウロはそれを解決しようとします。「第二 コリント人への手紙」1章12節から14節を取り上げます。

#### － Ⅱコリント 1：12 －

私たちが誇りとすること、私たちの良心が証ししていることは、...[私たちの良心は明確です]

..私たちがこの世において、特にあなたがたに対して、神から来る純真さと誠実さをもって、肉的な知恵によらず、神の恵みによって行動してきたということです。...

[言い換えれば、私たちの心は正しく、私たちの手は汚れていない。]

#### － Ⅱコリント 1：13&14 －

私たちは、あなたがたが読んで理解できること以外は何も書いていません。[何も書いていません]

あなたがたは、私たちについてすでにある程度理解しているのですから、私たちの主イエスの日には、あなたがたが私たちの誇りであるように、私たちもあなたがたの誇りであることを、完全に理解してくれるものと期待しています。

言い換えると、あなたは私が書いたことを誤解している。ですから、今、あなたがたに理解してほしい。ある程度理解しているだけで、完全には理解していません。この誤解を解きましょう。その誤解が何であったのか、私たちはまだわかりません。パウロとコリントの間に生じた誤解は、皮肉なことに、パウロが言った通り、パウロが直接 会いに行かなかったことに起因しています。それが誤解を生みました。聞いてください。「第二 コリント」2章15節から17節、

#### － Ⅱコリント 1：15 －

この確信をもって、私はまずあなたがたのところを訪れて、あなたがたが恵みを二度得られるようにと計画しました。

ー II コリント 1 : 15 ー

この確信をもって、私はまずあなたがたのところを訪れて、あなたがたが恵みを二度得られるようにと計画しました。

ー II コリント 1 : 16 ー

すなわち、あなたがたのところを通過してマケドニアに赴き、そしてマケドニアから再びあなたがたのところに帰り、あなたがたに送られてユダヤに行きたいと思ったのです。

ー II コリント 1 : 17 ー

このように願った私は軽率だったのでしょうか。それとも、私が計画することは人間的な計画であって、そのため私には、「はい、はい」は同時に「いいえ、いいえ」になるのでしょうか。

パウロが言っている意味は？ 聞いてください。直接 会いに行くと言ったのに、行きませんでした。私が言ったのは、ただイエスが仰った意味ではありません。「あなたがたの言うことばは、『はい』は『はい』、『いいえ』は『いいえ』としなさい。」(マタイ 5 : 37 参照)「この世と調子を合わせてはいけません。」(ローマ 12 : 2 参照)

誰かに約束するとき、あなたは誰かに何かを伝える、、、これは今、キリスト教においてデカイこと。何かというと、、(大きな溜息)なぜ私は、その缶を開けたのでしょうか。パウロがここで言っているのは、私の心は正しく、私の意識は正しく、私の手は主の御前に清い。あなたがたに会いに行く予定でしたが、予定が変わりました。その理由をこれから見ていきます。しかし、パウロはこの誤解を解こうとします。彼らは今、パウロに濡れ衣を着せ、噂をし、噂を広めていたからです。

「パウロは訪問する気はなかったんだ。彼は約束は守らない男で、来ると言ったのに来なかった。彼は約束を破ったんだ。彼の「はい」は「はい」ではないし、彼の「いいえ」は「いいえ」ではない。彼は信用できない人物だ。」ですから、このことはコリント中に広まって、すべては、パウロの訪問と対面に関するこの誤解のせいでした。今、パウロはそれを明らかにせねばなりません。ここでエアバッグの登場。(苦笑)ABS/アンチロック・ブレーキ・システムは効きませんでした。

「第二 コリント人への手紙」1章 23節から24節にパウロが書いたことを聞いてください。

「神を証人にお呼びして...」(II コリント 1 : 23 参照) おっと～。法廷を思い浮かべてください。この事件の被告、使徒パウロが証人を証言台に呼んでいます。「私は神をお呼びします。」検察側は「何だと？」OK。ちょっと大げさかもしれませんが、パウロが言っているのは、「神が私の証人」だということです。私たちはその言葉・フレーズを言いますね？ 私に代わって神が証言されます。「順当だったと....」これを聞いてください。これが私があなたがたのところに直接 訪問しなかった理由です。

「あなたがたへの思いやりからです。」(II コリント 1 : 23 参照)

わお! 思いやりから? そうです。「私がまだコリントへ行かないでいるのは、あなたがたへの思いやりからです。」(II コリント 1 : 23 参照)

ー II コリント 1 : 24 ー

私たちは、あなたがたの信仰を支配しようとする者ではなく、あなたがたの喜びのために協力して働く者です。あなたがたは信仰に堅く立っているのですから。

ここでパウロが何を言っているかわかりますか？ パウロは大きな誤解があったと言っています。あな

たがたは、私が約束を破って直接 訪問しなかったことを不当に非難しています。しかし本当は、私が直接 訪問しなかったことに感謝すべきです。「あなたがたへの思いやりからです。」「そうなのですか?」「そうです。」「私たちへの何からの思いやりなのですか?」一緒によく考えてください。パウロはおそらく非常に威圧的な人物だと同意しますか? 考えてください。パウロが部屋に入ると、全員が起立する。実際、慣習で敬意と賞賛を表します。皆が立ち上がり、「あれが誰だかわかる?」「あれは誰?」「あれが使徒パウロです。」「まさか?!」「まさか!」部屋全体の様相と雰囲気を変えます。ところで、私たちはこれをします。これはこんにちも健在です。私たちは彼らを台座の上に置き、彼らは私たちを支配する。パウロはそれを知っていました。それは霊的な見極めと呼ばれます。彼はその個性の強さによってそれを知っていました。パウロは強烈な個性を持っていました。「使徒の働き 15 章」のバルナバに尋ねてください。しかし、パウロが彼らを直接 訪ねていたら、彼らと関わることはわかっていました。パウロはそうしない決断をしました。彼らへの思いやりからです。(II コリント 1 : 23 参照)

彼らは、主の代わりにパウロに目を向け、パウロの重みと言葉は、神の御言葉より重いからです。パウロはそれを知っていました。パウロはそれを望みませんでした。こんな感じでした。: 「私たちはあなたと一緒に働きます。あなたは私たちのために働きません。私たちはあなたと一緒に働きます。私はあなたのボスじゃない。私が直接あなたがたを訪ねて、私が何か言えば、あなたがたは私という者が故にそれをするでしょう。私はそのようにはなりたくない。あなたに偉そうにしているのじゃない。私たちはあなたと一緒に働きます。あなたは私のために働いているのではない。私はあなたと一緒に働きます。」ですから、それが、、それに加えて、「私は邪魔になりたくない。あなたがたは、主ではなく私を見ているからです。あなたがたが信仰を私に置いて欲しくありません。私はあなたがたが信仰をイエスに置いてほしいのです。私が訪問すれば、私はその妨げになります。あなたがたが私をどう見ているか、あなたがたが私を見る方法ゆえに。」(苦笑) 皆さんが今、私を見ているようにね。パウロはさらに次のように言います。基本的に、パウロがコリントを再び訪れ、対面していたら、事態は今以上に悪化していたでしょう。再度、これは見極めです。私はパウロの言葉を使い、聖書箇所を読みます。パウロが使う言葉はこんな感じで、痛み、苦痛、苦悩、悲しみから私はあなたがたを守ります。あなたがたを愛しているからです。

「で、おお、パウロは私たちを愛していないに違いない。直接 私たちを訪ねようとはしない。」

「いや、実際、あなたがたは私にそうしてほしくないのです。もっと重要なことには、主が私にそれを望んでおられません。ですから、私はあなたがたを守り、私はあなたがたを十分に愛しているから、あなたがたを訪ねる代わりに、手紙を書きます。」

つまり、ほとんど対極です。ヨハネがしたかったことの真逆です。「第二 コリント人への手紙」2 章 1 節から 4 節を読みます。すべてがひとつにまとまって、締め括ります。パウロが手紙を書いていて、明確にします。

— II コリント 2 : 1 —

そこで私は、あなたがたを悲しませる訪問は二度としない、と決心しました。

[あなたがたへの思いやりからです。]

— II コリント 2 : 2 —

もし私があなたがたを悲しませるなら、私が悲しませているその人以外に、だれが私を喜ばせてくれるでしょう。

そのことは分かっているし、見極めていきます。私が訪ねていたら、もっと辛い思いをさせたでしょう。どうやら前回訪れたときは、楽しい経験ではなかったようです。これ以上あなたがたを苦しめたくありません。私は自分が強い性格だと自覚しています。私は手加減しません。コリントのあなたがたには大変率直だったのはわかっていますが、でも、私はあなたがたを愛しています。あなたがたを愛していなければ、何も気に留めません。私はあなたがたを十分に愛しているから、また訪問して、辛い思いはさせたくありません。悲しませたくありません。あの手紙を書いたのは、悲しみを受けることがないようにするためでした。(II コリント 2 : 3 参照)

聞いてください。私がパウロが来ると知ったら、大変ストレスです。ただそれだけで。私はあなたがたにこれ以上ストレスを与えたくありません。あなたがたはすでに十分なストレスを自らに課しています。あなたがたのストレスを増やしたくありません。

私に喜びをもたらすはずの人たちから、悲しみを受けることがないようにするためでした。... (II コリント 2 : 3)

私はあなたがたにストレスを与えたくありません。私はあなたがたに喜びをもたらし、それを受けて欲しいのです。

...私の喜びがあなたがたすべての喜びであると、私はあなたがたすべてについて確信しています。(II コリント 2 : 3 参照)

私があるあなたがたに書くのは、、聞いてください。4節、これが使徒パウロの心です。ちなみに、パウロは悪評が多かったと思います。3年間、昼も夜も泣いた男。

**「私は知っています。私が去った後、狂暴な狼があなたがたの中に入り込んで来て、容赦なく群れを荒らし回ります。」(使徒の働き 20 : 29)**

狼が弟子たちを、自分たちのもとに引き込む。パウロは神の民をこよなく愛しました。私たちはパウロをそのように見ません。私たちはパウロを、大胆不敵な人として見ます。

「おお、はい。直接訪問したいのですか？ いや、大丈夫。大丈夫ですから。」彼は直球です。パウロがそれほど直球なのはなぜか？ 彼はあなたを愛しているからです。それが理由です。ここで彼が語ることを聞いてください。

— II コリント 2 : 4 —

**私は大きな苦しみと心の嘆きから、涙ながらにあなたがたに手紙を書きました。それは、あなたがたを悲しませるためではなく、私があるあなたがたに対して抱いている、あふれるばかりの愛を、あなたがたに知ってもらうためでした。**

言い換えると、「あなたたち、どうか聞いてください。再度、訪問しなくて良かったのです。事態を悪化させるだけだったでしょう。それはあなたがたに苦痛を与えたでしょう。あなたがたにとって大きなストレスになったでしょう。そんなことはしたくありません。私はあなたがたを愛しています。ですから、訪問の代わりに手紙を書いています。でも、私はこれを書きながら、涙で手紙や羊皮紙を濡らしているのを知ってください。」メールを書きながら、ただ涙を流したことがありますか？ 私はもちろんあります。キツイことですが、正しいことです。その人を愛しているからこそできること。心の苦悩はどうですか？ 心の苦悩とは何か？ 魂の深い苦悩とは何かわかりますか？ つまり、強烈な感情。私たちはパウロを頑固なような感じでみています。しかし、いいえ、彼は神と神の民と神の教会への大きな心を持っています。パウロは、優しい心を持っています。サイの皮膚ですが、彼は心優しいのです。これが鍵です。彼は

夜も眠れなかったような印象を受けます。それがどういうことか分かりますね？

「私は大きな苦しみと心の嘆きから、あなたがたに手紙を書きました。」(II コリント 2：4 参照)

どういう意味でしょう？ 正しくないとわかっている。それを正さなければならないから眠れない。私は皆さんに率直に、分かち合いたいのです。朝の 2 時にメールを作成したことは何度もありました。ただ、それが解決するまで、主が私の心を落ち着かせられなかったからです。私の子育て中でも、どうしても.....という時があったり、、、牧師として、説教の準備とか、、、聖霊が言われます。「何をしていますのですか？」「私は牧師です。説教の準備をしています。」「娘に上手く対応できなかったようですね。」どうしても、命がけでも 3 点どころか 2 点説教さえ思い付けません。私は起きねばならず、謙虚になり、下へ降りて、娘に許しを乞います。天が開けるような気がするの、正しくしたからです。それがパウロのすることです。集中できない。寝るどころじゃない。このことは、私に大きな苦痛、悲しみ、嘆き、心の苦悩を引き起こしている。それは真実ではないですか？ これで締めくくります。あなたが最も愛する人たちは、あなたが最も傷つけるだけでなく、あなたを最も傷つけるのではないですか？ そう、私が知らない誰か、愛していない誰か、そういう誰か、、、彼らはこんな風に言えます。

プシュー（なんちゃない）そんな感じです。そこにこういう肩の動きを入れる。慣用句の、「影響ない」ですね。(直訳：アヒルの背中から弾かれた水のように)しかし、あなたが深く愛する人である場合、あなたは彼らを悲しませたのがわかり、彼らに苦痛を与えました。あなたは彼らが大変愛しています。

事実、、、OK。これが正式に最後で、締めくくります。これは本当に重要で、全てをつなげます。

イエスがこう仰られたのをご存知ですね。

**「もしわたしを愛しているなら、あなたがたはわたしの戒めを守るはずです。」(ヨハネ 14：15)**

それがどう働くかわかりますか？ ヨセフという人物に要約されます。ポティファルの妻が毎日毎日 ヨセフを誘惑する。ヨセフは何と言うのか？「私は神に対してそれはできません。私は神を愛しすぎています。それは神の心をとても傷つけます。神の心を悲しませます。それはできません。上司であるあなたのご主人にそれはできません。でも、それ以上に、私は神にそれはできません。」

ちなみに、それが主を畏れること。あなたは、神の心を傷つけることを恐れます。神をととても愛すなら、あなたは神を傷つけることは何もできないはず。私は妻をととても愛しています。彼女を傷つけるようなことは絶対にしたくありません。OK。マスカラが滲んでしまいました。私は締めくくると言いましたし。ご起立ください。カポノ、上がって来てください。皆さんの忍耐と優しさに感謝します。皆さんは私に大変優しいです。天国に行ったら、そこに特別な宝があると思います。こう聞かれるからです。「待って。JD 牧師の教会に通っていたの？ ほ〜！ 入りなさい！ よくやりました。わお！」

OK。実際それは言われません。

天のお父様、ありがとうございます。主よ、特に今日ここにいる人、オンラインで見ている人、あるいは他の方法で聞いている人のために、私は願います。今、本当に葛藤していて、パウロもこのことで大いに悩みました。ヨハネは彼らと直接 会いたいと望み、誤解がないようにと、かなり厳しく強く警告しました。主よ、大きな誤解の中にいるかもしれない人のために祈ります。誤解を解こうとすることはすべて、事態を悪化させるだけです。主よ、私はただ見極める力と恵みと上からの知恵を祈ります。それは、まず純粋、平和で、優しく、人に慕われやすく、慈しみと良い実に満ちていて、偽善や偏見がなく、義の実を結ぶものです。

主よ、彼らに上からの知恵と見極める力を、何を言うべきかではなく、何をどのように言うべきか、それ

を言う方法を与えてください。対立を解決し、誤解を解くためにあなたが彼らの前を行って下さい。主よ、ありがとうございます。あなたの御言葉でこのような箇所は、おお、いのちです。これはいのちのパンです。主よ、感謝します。私たちはあなたを大変愛しています。イエスの御名によって、アーメン。

-----  
メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオへ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7